

工業用水道事業特別会計

1 事業の概況

(1) 業務実績

工業用水道事業においては、一倉工業団地などの事業所への安定的な給水に努めている。

当年度の給水事業所数は4箇所、年間契約水量は186,150 m³、年間総給水量、年間総有収水量はいずれも179,002 m³で、年度有収率は100.0%となっている。

これを前年度と比較すると、給水事業所数は同数、年間契約水量は10,470 m³(6.0%)増加し、年間総給水量、年間総有収水量はいずれも23,299 m³(15.0%)増加している。年度有収率は前年度と同率である。

業務実績

区 分	単位	2 年 度 (A)	元 年 度 (B)	前 年 度 比 較	
				増 減 (A)-(B)	増 減 率
給 水 事 業 所 数	箇所	4	4	0	—
給 水 件 数	件	4	4	0	—
年 間 契 約 水 量	m ³	186,150	175,680	10,470	6.0 %
年 間 総 給 水 量	m ³	179,002	155,703	23,299	15.0 %
一 日 平 均 給 水 量	m ³	490	425	65	15.3 %
年 間 総 有 収 水 量	m ³	179,002	155,703	23,299	15.0 %
年 度 有 収 率	%	100.0	100.0	ポイント 0.0	—

(2) 建設改良事業等

当年度は、建設改良工事は行っていないが、補修工事として、一倉工水水源地取水井水位計の修繕を行った。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算額 692 万円に対し、決算額 845 万円で、153 万円の増、収入率は 122.1%となっている。決算額が増となった主な要因は、基本使用水量の増及び超過使用水量による超過料金等の発生に伴う、営業収益の増である。

収益的支出は、予算額 660 万円に対し、決算額 575 万円で、84 万円の不用額が生じ、執行率は 87.2%となっている。不用額の主なものは営業費用である。

収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円, %)

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減	収入率 (B)/(A)
工業用水道事業収益	6,923	8,456	1,533	122.1
営 業 収 益	6,746	8,296	1,550	123.0
営 業 外 収 益	177	159	△ 17	90.1

支 出

(単位：千円, %)

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	翌年度 繰越額	不用額	執行率 (B)/(A)
工業用水道事業費	6,600	5,754	0	845	87.2
営 業 費 用	6,500	5,754	0	745	88.5
予 備 費	100	0	0	100	—

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出は、予算措置をしていない。

3 経営成績

経営成績をみると、総収益は 845 万円、総費用は 575 万円で、差引き 270 万円の純利益となっている。

これを前年度と比較すると、総収益が 119 万円増加した一方で、総費用が 27 万円減少し、純利益は 146 万円増加している。

経営成績の推移

(単位：千円, %)

年 度	総 収 益		総 費 用		損 益 (A) - (B)
	金 額 (A)	対前年度 増 減 率	金 額 (B)	対前年度 増 減 率	
2 8	6,969	△ 9.0	6,374	△ 11.1	594
2 9	6,898	△ 1.0	6,073	△ 4.7	825
3 0	6,903	0.1	6,399	5.4	504
元 (C)	7,266	5.3	6,027	△ 5.8	1,238
2 (D)	8,456	16.4	5,754	△ 4.5	2,701
前年度比較 (D) - (C)	1,190	—	△ 272	—	1,462

(1) 総収益

営業収益は 829 万円で、前年度と比較して 122 万円増加している。この要因は、基本使用水量の増及び超過使用水量による超過料金等の発生に伴う給水収益の増である。営業外収益は 15 万円で、前年度と比較して 3 万円減少している。

総収益構成

(単位：千円, %)

区 分	2 年 度		元 年 度		前 年 度 比 較	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A)-(B)	増 減 率
営 業 収 益	8,296	98.1	7,067	97.3	1,229	17.4
給 水 収 益	8,296	98.1	7,067	97.3	1,229	17.4
営 業 外 収 益	159	1.9	198	2.7	△ 39	△ 19.8
受 取 利 息	36	0.4	76	1.0	△ 39	△ 51.8
長 期 前 受 金 戻 入	122	1.5	122	1.7	0	—
合 計	8,456	100.0	7,266	100.0	1,190	16.4

(2) 総費用

営業費用は 575 万円で、前年度と比較して 27 万円減少している。この主な要因は、原水及び浄水費が 26 万円減少したことである。

総費用構成

(単位：千円, %)

区 分	2 年 度		元 年 度		前 年 度 比 較	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A)-(B)	増 減 率
営 業 費 用	5,754	100.0	6,027	100.0	△ 272	△ 4.5
原 水 及 び 浄 水 費	3,980	69.2	4,243	70.4	△ 262	△ 6.2
業 務 費	10	0.2	10	0.2	0	0.8
総 係 費	93	1.6	101	1.7	△ 8	△ 8.2
減 価 償 却 費	1,669	29.0	1,671	27.7	△ 1	△ 0.1
合 計	5,754	100.0	6,027	100.0	△ 272	△ 4.5

次に、性質別費用を前年度と比較すると、増減額の大きなものは、修繕費が 20 万円で 39 万円、動力費が 251 万円で 5 万円の減、一方、委託料が 104 万円で 21 万円の増である。

性質別費用構成

(単位：千円, %)

区 分	2 年 度		元 年 度		前 年 度 比 較	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A)-(B)	増 減 率
動 力 費	2,513	43.7	2,565	42.6	△ 51	△ 2.0
減 価 償 却 費	1,669	29.0	1,671	27.7	△ 1	△ 0.1
委 託 料	1,048	18.2	835	13.9	213	25.5
修 繕 費	209	3.6	608	10.1	△ 399	△ 65.6
そ の 他	313	5.5	346	5.8	△ 32	△ 9.4
合 計	5,754	100.0	6,027	100.0	△ 272	△ 4.5

(3) 供給単価及び給水原価

有収水量 1 m³当たりの供給単価は 41.18 円、給水原価は 27.95 円であり、供給単価が給水原価を 13.23 円上回っている。

これを前年度と比較すると、供給単価は 2.10 円増加し、給水原価は 4.70 円減少している。

また、給水原価の主なものは、動力費が 12.47 円、減価償却費が 8.29 円となっている。

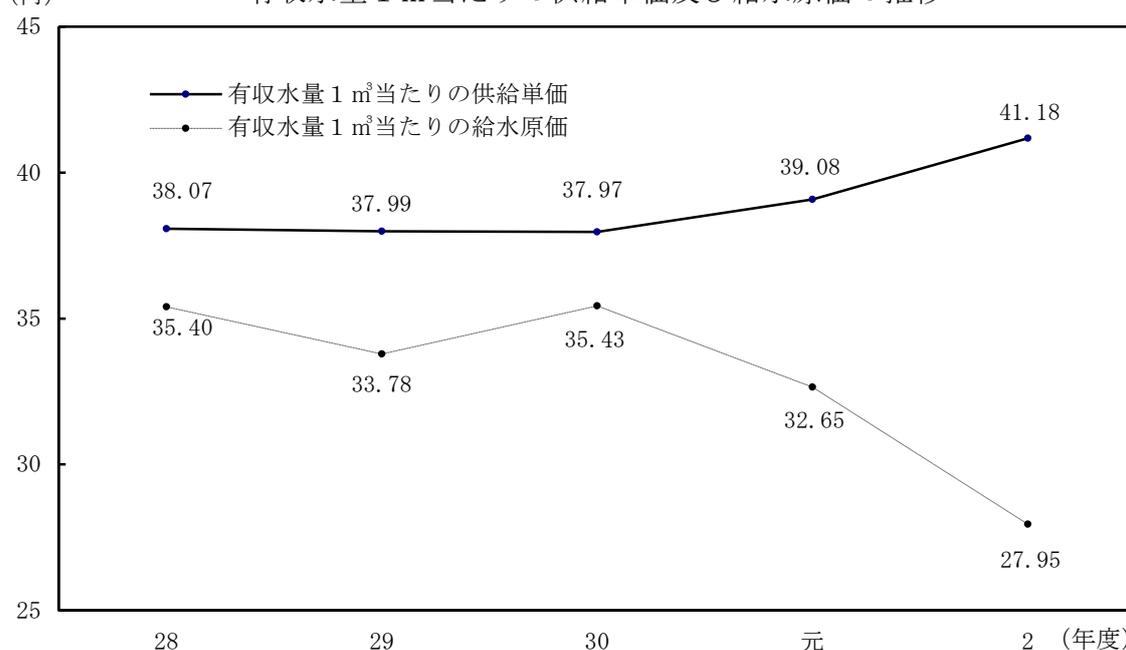
有収水量 1 m³当たりの供給単価及び給水原価の比較

(単位：円, %)

区 分	2 年 度		元 年 度		前 年 度 比 較		
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A) - (B)	増 減 率	
供 給 単 価 (C)	41.18	—	39.08	—	2.10	5.4	
給 水 原 価 (D)	27.95	100.0	32.65	100.0	△ 4.70	△ 14.4	
給水原価内訳	動 力 費	12.47	44.6	14.19	43.5	△ 1.72	△ 12.1
	減 価 償 却 費	8.29	29.7	9.24	28.3	△ 0.95	△ 10.3
	委 託 料	5.20	18.6	4.62	14.2	0.58	12.6
	修 繕 費	1.04	3.7	3.36	10.3	△ 2.32	△ 69.0
	そ の 他	1.56	5.6	1.92	5.9	△ 0.36	△ 18.8
	長期前受金戻入	△ 0.61	△ 2.2	△ 0.68	△ 2.1	0.07	△ 10.3
差 引 (C)-(D)	13.23	—	6.43	—	6.80	—	

(注) 供給単価 = $\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$ 給水原価 = $\frac{\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費}) - \text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$

(円) 有収水量 1 m³当たりの供給単価及び給水原価の推移



(4) 収益性分析

事業の収益性を前年度と比較してみると、総収支比率は 146.9%で 26.4 ポイント、経常収支比率は 146.9%で 26.4 ポイント、営業収支比率は 144.2%で 27.0 ポイントそれぞれ上昇している。

各比率がいずれも上昇した主な要因は、給水収益の増などにより営業収益が増加したことである。

また、営業収益に対する営業費用の割合は 69.4%で前年度より 15.9 ポイント低下し、その内訳は、動力費が 30.3%で 6.0 ポイント、減価償却費が 20.1%で 3.6 ポイント、委託料等のその他が 18.9%で 6.4 ポイントそれぞれ低下している。

収支比率の推移

(単位：%)

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度 (A)	2年度 (B)	増減 (B)-(A)
総収支比率 $\left\{ \frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100 \right\}$	109.3	113.6	107.9	120.5	146.9	26.4 ポイント
経常収支比率 $\left\{ \frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100 \right\}$	109.3	113.6	107.9	120.5	146.9	26.4
営業収支比率 $\left\{ \frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100 \right\}$	105.5	110.2	104.5	117.2	144.2	27.0

営業収益に対する営業費用の割合の推移

(単位：%)

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度 (A)	2年度 (B)	増減 (B)-(A)
営業収益に 対する割合	営業費用	94.8	90.7	95.7	85.3	69.4 △ 15.9 ポイント
	減価償却費	50.1	30.3	25.0	23.7	20.1 △ 3.6
	動力費	28.7	33.4	35.6	36.3	30.3 △ 6.0
	その他	16.0	27.1	35.1	25.3	18.9 △ 6.4

4 財政状態

(1) 資産

資産総額は1億6,456万円で、前年度と比較して298万円増加している。

資産総額のうち固定資産は3,705万円で、前年度と比較して166万円減少している。この主な要因は、構築物が104万円、機械及び装置が39万円それぞれ減少したことである。

流動資産は1億2,750万円で、前年度と比較して465万円増加している。この主な要因は、現金・預金が419万円増加したことである。

(2) 負債

負債総額は342万円で、前年度と比較して28万円増加している。

流動負債は54万円で、前年度と比較して40万円増加している。これは、未払金の増加によるものである。

繰延収益は288万円で、前年度と比較して12万円減少している。

(3) 資本

資本総額は1億6,113万円で、前年度と比較して270万円増加している。

資本総額のうち資本金は1億495万円で、前年度と同額である。

剰余金は5,618万円で、前年度と比較して270万円増加している。これは、当年度未処分利益剰余金として当年度純利益270万円が生じたことによるものである。

比較貸借対照表

(単位：千円, %)

区 分	2 年 度 (A)	元 年 度 (B)	前 年 度 比 較	
			金 額 (A) - (B)	増減率
資 産	164,562	161,575	2,987	1.8
固 定 資 産	37,056	38,726	△ 1,669	△ 4.3
流 動 資 産	127,505	122,849	4,656	3.8
負 債	3,427	3,142	285	9.1
流 動 負 債	541	132	408	307.8
繰 延 収 益	2,886	3,009	△ 122	△ 4.1
資 本	161,134	158,432	2,701	1.7
資 本 金	104,950	104,950	0	—
剰 余 金	56,183	53,482	2,701	5.1

固定資産及び減価償却の推移

(単位：千円)

年 度	固 定 資 産 年 度 末 残 高	減 価 償 却		固 定 資 産 償 却 未 済 高
		当 年 度 増 加 額	年 度 末 累 計 額	
28	141,434	3,367	97,177	44,256
29	141,434	2,028	99,206	42,228
30	138,262	1,671	97,864	40,397
元	138,262	1,671	99,536	38,726
2	138,262	1,669	101,206	37,056

(4) 財務比率

財務比率についてみると、総資本に対する自己資本（資本金+剰余金+繰延収益）の占める割合を示す自己資本構成比率は 99.7%で、前年度と比較して 0.2 ポイント低下しているが、28 年度以降ほぼ横ばいである。当年度の比率が低下した主な要因は、流動負債が増加したことである。

また、長期資本（自己資本+固定負債）に対する固定資産の割合を示す固定長期適合率は 22.6%で、前年度と比較して 1.4 ポイント低下しており、28 年度以降良好に推移している。当年度の比率が低下した主な要因は、剰余金が増加したことである。

流動負債に対する流動資産の割合を示す流動比率は 23,553.6%で、前年度と比較して 68,997.1 ポイント低下している。当年度の比率が低下した主な要因は、流動負債が増加したことである。

財務比率の推移

(単位：%)

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度 (A)	2年度 (B)	増 減 (B)-(A)
自己資本構成比率 $\left\{ \frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100 \right\}$	99.3	99.3	99.4	99.9	99.7	ポイント △ 0.2
固定長期適合率 $\left\{ \frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}} \times 100 \right\}$	27.7	26.3	25.2	24.0	22.6	△ 1.4
流動比率 $\left\{ \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 \right\}$	35,300.8	16,093.8	12,857.8	92,550.7	23,553.6	△ 68,997.1

5 資金の状況

当年度末における業務活動によるキャッシュ・フローは419万円となり、前年度末と比較して239万円増加している。

投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローは発生していない。

この結果、当年度の資金は419万円増加し、資金期末残高は1億2,594万円となっている。

比較キャッシュ・フロー計算書（間接法）

（単位：千円）

区 分	2年度 (A)	元年度 (B)	増減(A)-(B)
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	2,701	1,238	1,462
減価償却費	1,669	1,671	△ 1
修繕引当金の増減額（△は減少）	0	△ 373	373
長期前受金戻入額	△ 122	△ 122	0
受取利息及び受取配当金	△ 36	△ 76	39
未収金の増減額（△は増加）	△ 456	△ 174	△ 282
未払金の増減額（△は減少）	408	△ 433	842
小計	4,163	1,729	2,433
利息及び配当金の受取額	36	76	△ 39
業務活動によるキャッシュ・フロー	4,199	1,805	2,394
資金増加額（又は減少額）	4,199	1,805	2,394
資金期首残高	121,741	119,935	1,805
資金期末残高	125,941	121,741	4,199

6 その他

(1) 未収金

当年度末現在の未収金は給水収益156万円で、前年度と比較すると45万円増加している。

なお、過年度分の未収金はない。

未収金の状況

（単位：千円）

年 度	給 水 収 益
2	1,564
当 年 度 末 (A)	1,564
前 年 度 末 (B)	1,107
(A) - (B)	456

7 むすび

工業用水道事業においては、一倉工業団地などの4事業所への安定的な給水に努めており、当年度は、一倉工水水源地の取水井水位計の修繕を行った。

経営状況については、総収益が増加し、総費用が減少した結果、270万円の純利益となっており、財務比率や収益率をみても健全経営を維持しているといえる。

経営環境を見てみると、給水事業所の増は見通せないものの、給水収益は増加傾向にある。しかしながら、費用面においては、施設や設備の老朽化に伴い、改良・更新に要する経費の増加が予想されることから、次期経営計画や中期財政計画策定の機会を捉え、利益積立金などの利益剰余金の処分のあり方について検討されたい。

また、工業用水需要は増加傾向が見られるものの、施設利用率は依然として20%台で推移していることから、施設の更新が必要な際には、将来の工業用水需要と使用効率等を総合的に勘案して施設規模を検討されたい。

今後とも、施設や設備の適切な維持管理と収益の確保に取り組み、産業活動に欠かせない工業用水の安定的供給に引き続き努められたい。

付 表

2年度工業用水道事業損益計算書……………	1 1 8
工業用水道事業損益計算書（対前年度比較）……………	1 2 0
2年度工業用水道事業貸借対照表……………	1 2 2
工業用水道事業貸借対照表（対前年度比較）……………	1 2 4
工業用水道事業キャッシュ・フロー計算書（対前年度比較）……	1 2 6
工業用水道事業財務分析比率等比較表……………	1 2 8

(単位：円,%)

収 益 の 部				
科 目	2 年 度	元 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
営 業 収 益	8,296,734	7,067,282	1,229,452	17.4
給 水 収 益	8,296,734	7,067,282	1,229,452	17.4
営 業 外 収 益	159,537	198,933	△ 39,396	△ 19.8
受 取 利 息	36,675	76,071	△ 39,396	△ 51.8
長 期 前 受 金 戻 入	122,862	122,862	0	—
合 計	8,456,271	7,266,215	1,190,056	16.4

2年度工業用水道事業貸借対照表

資 産 の 部			
科 目	金 額	内 容 比 率	構 成 比 率
固 定 資 産	37,056,275	100.0	22.5
有 形 固 定 資 産	37,056,275	100.0	22.5
建 物	6,914,936	18.7	4.2
構 築 物	26,795,165	72.3	16.3
機 械 及 び 装 置	3,346,174	9.0	2.0
流 動 資 産	127,505,940	100.0	77.5
現 金 ・ 預 金	125,941,131	98.8	76.5
未 収 金	1,564,809	1.2	1.0
合 計	164,562,215		100.0

(単位：円,%)

負債及び資本の部			
科目	金額	内容比率	構成比率
流動負債	541,344	100.0	0.3
未払金	541,344	100.0	0.3
繰延収益	2,886,615	100.0	1.8
長期前受金	8,343,316	289.0	5.1
県費補助金	8,343,316	289.0	5.1
収益化累計額	△ 5,456,701	△ 189.0	△ 3.3
県費補助金	△ 5,456,701	△ 189.0	△ 3.3
負債合計	3,427,959		2.1
資本金	104,950,614	100.0	63.8
剰余金	56,183,642	100.0	34.1
利益剰余金	56,183,642	100.0	34.1
利益積立金	9,590,000	17.1	5.8
建設改良積立金	43,892,285	78.1	26.7
当年度未処分利益剰余金	2,701,357	4.8	1.6
当年度純利益	2,701,357	4.8	1.6
資本合計	161,134,256		97.9
合計	164,562,215		100.0

工業用水道事業貸借対照表（対前年度比較）

資 産 の 部				
科 目	2 年 度	元 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
固 定 資 産	37,056,275	38,726,080	△ 1,669,805	△ 4.3
有 形 固 定 資 産	37,056,275	38,726,080	△ 1,669,805	△ 4.3
建 物	6,914,936	7,150,157	△ 235,221	△ 3.3
構 築 物	26,795,165	27,836,302	△ 1,041,137	△ 3.7
機 械 及 び 装 置	3,346,174	3,739,621	△ 393,447	△ 10.5
流 動 資 産	127,505,940	122,849,033	4,656,907	3.8
現 金 ・ 預 金	125,941,131	121,741,223	4,199,908	3.4
未 収 金	1,564,809	1,107,810	456,999	41.3
合 計	164,562,215	161,575,113	2,987,102	1.8

(単位：円,%)

負債及び資本の部				
科 目	2 年 度	元 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
流 動 負 債	541,344	132,737	408,607	307.8
未 払 金	541,344	132,737	408,607	307.8
繰 延 収 益	2,886,615	3,009,477	△ 122,862	△ 4.1
長 期 前 受 金	8,343,316	8,343,316	0	—
県 費 補 助 金	8,343,316	8,343,316	0	—
収 益 化 累 計 額	△ 5,456,701	△ 5,333,839	△ 122,862	2.3
県 費 補 助 金	△ 5,456,701	△ 5,333,839	△ 122,862	2.3
負 債 合 計	3,427,959	3,142,214	285,745	9.1
資 本 金	104,950,614	104,950,614	0	—
剰 余 金	56,183,642	53,482,285	2,701,357	5.1
利 益 剰 余 金	56,183,642	53,482,285	2,701,357	5.1
利 益 積 立 金	9,590,000	9,590,000	0	—
建 設 改 良 積 立 金	43,892,285	42,653,672	1,238,613	2.9
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	2,701,357	1,238,613	1,462,744	118.1
当 年 度 純 利 益	2,701,357	1,238,613	1,462,744	118.1
資 本 合 計	161,134,256	158,432,899	2,701,357	1.7
合 計	164,562,215	161,575,113	2,987,102	1.8

工業用水道事業キャッシュ・フロー計算書（対前年度比較）

区 分	2 年 度
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	2,701,357
減価償却費	1,669,805
修繕引当金の増減額（△は減少）	0
長期前受金戻入額	△ 122,862
受取利息及び受取配当金	△ 36,675
未収金の増減額（△は増加）	△ 456,999
未払金の増減額（△は減少）	408,607
小計	4,163,233
利息及び配当金の受取額	36,675
業務活動によるキャッシュ・フロー	4,199,908
資金増加額（又は減少額）	4,199,908
資金期首残高	121,741,223
資金期末残高	125,941,131

（注）本表は、間接法により作成している。

(単位：円)

元年度	増減額
1,238,613	1,462,744
1,671,771	△ 1,966
△ 373,900	373,900
△ 122,862	0
△ 76,071	39,396
△ 174,906	△ 282,093
△ 433,406	842,013
1,729,239	2,433,994
76,071	△ 39,396
1,805,310	2,394,598
1,805,310	2,394,598
119,935,913	1,805,310
121,741,223	4,199,908

工業用水道事業財務分析比率等比較表

分析項目		算式
構成比率	自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）}}{\text{総資本（負債＋資本）}} \times 100$
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）}} \times 100$
財務	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本（固定負債＋資本金＋剰余金＋繰延収益）}} \times 100$
	負債比率	$\frac{\text{負債}}{\text{自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）}} \times 100$
比率	固定負債比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）}} \times 100$
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
率	当座比率 (酸性試験比率)	$\frac{\text{当座資産（現金預金＋未収金－貸倒引当金）}}{\text{流動負債}} \times 100$
	総資本利益率	$\frac{\text{純利益（△純損失）}}{\text{平均総資本（（前年度総資本＋当年度総資本）÷2）}} \times 100$
益	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
率	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$
	回転率	$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{\text{平均固定資産（（期首固定資産＋期末固定資産）÷2）}} \times 100$
その他	企業債元利償還金対 料金収入比率	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$

(単位：円, %, 回)

2 年 度 (A)		元 年 度 (B)	30 年 度 (C)	対 前 年 度 増 減	
				2 年 度 (A) - (B)	元 年 度 (B) - (C)
$\frac{164,020,871}{164,562,215} \times 100$	99.7	99.9	99.4	ポイント △ 0.2	ポイント 0.5
$\frac{37,056,275}{164,020,871} \times 100$	22.6	24.0	25.2	△ 1.4	△ 1.2
$\frac{37,056,275}{164,020,871} \times 100$	22.6	24.0	25.2	△ 1.4	△ 1.2
$\frac{3,427,959}{164,020,871} \times 100$	2.1	1.9	2.5	0.2	△ 0.6
$\frac{0}{164,020,871} \times 100$	—	—	—	—	—
$\frac{127,505,940}{541,344} \times 100$	23,553.6	92,550.7	12,857.8	△ 68,997.1	79,692.9
$\frac{127,505,940}{541,344} \times 100$	23,553.6	92,550.7	12,857.8	△ 68,997.1	79,692.9
$\frac{2,701,357}{163,068,664} \times 100$	1.7	0.8	0.3	0.9	0.5
$\frac{8,456,271}{5,754,914} \times 100$	146.9	120.5	107.9	26.4	12.6
$\frac{8,456,271}{5,754,914} \times 100$	146.9	120.5	107.9	26.4	12.6
$\frac{8,296,734}{5,754,914} \times 100$	144.2	117.2	104.5	27.0	12.7
$\frac{8,296,734}{37,891,178}$	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0
$\frac{0}{8,296,734} \times 100$	—	—	—	—	—

